

は当時思いもしなかったのです。

しかしそんな遠い『古事記』の存在が、ぐっと近づく機会がありました。雅楽の講義で笙の宮田まゆみ先生に、現代語訳版（講談社学術文庫）があることを教えていただいたのです。これなら手軽に読めると思い、古事記を手にしました。

読み始めてみると、驚いた事に「生き生きしている！面白い！」という印象を受けました。それは今まで私が抱いていたイメージとは随分かけ離れたものでした。それまでは、「最古の書物」という言葉だけがこびりついていたので、むしろその反対のイメージしか抱けなかったのです。古事記は、文学性や叙情性の豊かな文学として評価されていますが、私も確かにそうだと思います。

また古事記によって、上代の人々の思想や生活を知り、楽しむことができます。そのなかで特に私が興味を持ったのは、神と政治とのつながりです。政で重要とされることの1つに、神を祭り、神意を伺うということがあります。例

えば太占かしまにという占いの方法があり、これは鹿などの骨を焼いてそこに入ったひびの形でもって神意を伺いました。また、琴を奏でること、神がかりして神託を受けることができました。上代においては神と通じるのに音や音楽がとても重要な役割を果たしていたのです。

古事記を読むことで、文学や文化などの面から学び、感じとれることが沢山あると思います。まずは是非一度手にとってみてください。神様の名前が多く出てくるので、はじめは困惑するかもしれませんが、あまり気にせず、気楽に読むと楽しめると思います。西洋音楽を中心に勉強している方も、読めばきっと何か見えてくるものがあるはずです。



請求記号●J97-771~773  
次田真幸全訳注『古事記  
全訳注（上）（中）（下）』

●おりはらあさみ 笙とヴィオラ・ダ・カンパを両肩に背負い、毎日よたよたと大学に通っています。少しは鍛えられたかな。

## 「TLLをご存知ですか？」 (TAC Library Lending)

資料探しには<忍耐と根性>が不可欠ですが、探している資料が見つからない時、あなたならどうしますか？ あっさりあきらめる前に、まずはTAC加盟大学で探してみませんか。

TLLを利用すると、それぞれの図書館に行かなくても、当館から加盟大学（国際基督教大学、津田塾大学、東京経済大学、武蔵野美術大学）図書館への資料申し込み・貸出・返却が無料でできます。

利用するには、まずOPAC端末画面からTACOPACをクリックしTAC加盟館の所蔵を調べましょう。申し込みの際は相手館OPACの内容をよく見て「TLL申込書」に記入し、図書館2階受付カウンターに出してください。禁帯出・雑誌などはTLLでは利用できません。又、延滞資料がありますと、到着しても貸出する事ができませんのでご注意ください。

尚、至急利用の場合は直接加盟館に出向いての利用が便利です。

利用できる方：本学学生／教職員／長期利用登録の卒業生

### 【TLLスケジュール】

受付日	月～水	水～金	金～月
利用日	翌週月	翌週火	翌週木

\* 上記は一応の目安です。到着したらメールでご連絡しますので学生証（又は教職員証、図書館利用証）持参の上、2階受付カウンターまでいらして下さい。